

## 2018 年度活動報告 CJP 授業：総合日本語 3

志村 ゆかり（関西学院大学日本語教育センター）

### 1. クラス概要

総合日本語 3 では、初中級レベルの文章を読んで理解し、それに関連する内容について話したり書いたりすること、他者の考えを知り、理解を深めることができるようになることを目標とし、初中級レベルの日本語の文法、語彙の知識を基盤に、読解、意見交換、および作文の活動を行った。

授業は 1 週間に 3 コマで、1 課に 3～4 コマをあてた。基本的な進め方として、学期の前半は、『中級へ行こう』から 5 課分、後半は『中級を学ぼう 中級前期』から 5 課分を学習範囲とし、そのほかに、総合的な運用活動としてポスター発表を 1 回、また日本人との交流を目的に、トピックを持ち合った意見交換活動を行った。

### 2. 授業内容

「考える力」を育てることを基本目標とし、全体の流れを組んだ。課の本文読解をしたのち、本文から学生が問題を提起する。その後、各学生が自分の提起した問題について調べたり掘り下げたりし、それを学生間で共有し、意見交換をする。そして、意見交換した事柄を踏まえて、意見文を書き、その意見文をピアリーディングなどの方法で学生間でシェア、リライトするという流れで授業を行った。各課の文法と語彙については、課の授業過程の最後に学習する形式をとった。

ポスター発表は、各自でテーマを決めて、それについて調べたことをポスターにし、並行クラス（4 クラス）合同で、日本人のボランティア学生も交え、意見交換を行った。日本人との交流を目的に実施した活動では、6 人程度のグループに分かれて、各グループごとに選んだトピックについて話し合った。

### 3. 成果と今後の課題

学生のアンケートでは、問題提起とその後の意見交換は好評であった。一方、作文については 1 つのテーマにかける回数を減らし、学生間のシェアより教師のフィードバックのほうが有効という声も少数ではあるが上がっていたので、今後の課題とした。また、日本人との交流活動では、学生が多すぎる、1 グループ間での話し合いの時間が短い等の声が散見された。次回以降、総合 3 レベルの学生数を考慮し、工夫する必要がある。